

啓明

啓明通信



学校教育目標

- 将来に希望をもち、豊かな知性を磨く生徒
 - 自分に厳しく、他を思いやる生徒
 - ねばり強く、心身をたくましくきたえる生徒
- 校訓：「独立自往」

今年度実践目標

「みんなが幸せになる学校づくり」

～学校づくりの＜主人公＞として仲間と共に歩む生徒～



今号では1学期の旅行的行事であった修学旅行（3学年）、宿泊学習（2学年）の振り返りを掲載いたします。なお、校外学習（1学年）の振り返りは、次号掲載予定です。

学年の殻を破った修学旅行

3学年主任 平田 和也

5月22日～24日までの2泊3日で、秋田県・青森県の修学旅行へ行ってきました。

新年度が始まってからの約2ヶ月、どこか新しい環境に慣れきっていない様子があり、学年全体に少し静かで遠慮がちな空気が漂っていたのが、出発前の私の小さな気がかりでした。そのため「学年が持つ本来のエネルギーを引き出すきっかけにする」ことが、この修学旅行における学年教員の目標でもありました。生徒たちは旅の中で、そんな緊張や不安を吹き飛ばすように、おとなしかった学年の殻を破り、本来のエネルギーを存分に発揮してくれました。

そのきっかけとなったのが、1日目の夜の「なまはげ太鼓ライブ」です。激しい和太鼓の迫力に生徒たちの心に火がつき、会場は一体となって大いに盛り上がりました。「全員で全力で楽しむことの素晴らしさ」を、体全体で学び取った瞬間でした。

この勢いは、2日目の「康楽館」での歌舞伎鑑賞へと引き継がれました。伝統芸能を前に全員で手拍子や歓声で、舞台を盛り上げました。終演後、康楽館のスタッフの方から「今までこんなに盛り上げてもらったことはありません」と感動の言葉をいただき、一般のお客さんからも「見ていて本当に楽しかった、元気をもらった」と声をかけていただきました。自分たちが全力で楽しむ姿が、まわりを笑顔にするということを、生徒たちは身をもって証明してくれました。

青森での「ねぶたの家 ワ・ラッセ」見学や「アスパム」での買い物、秋田での身の引き締まる「座禅体験」、笑顔あふれる「焼ききりたんぽ作り」など、どの体験活動でも、生徒たちは常に全力で取り組み、笑顔とパワーに満ちあふれた最高の環境を自分たちで作り上げることができました。

今回の旅で、「自分の良さを全力で出すことが、結果として周囲の環境を良くし、良い形で自分に返ってくる」という確かな手応えを得ることができました。この修学旅行で発揮した最高のエネルギーを、これからの学校生活、次の行事の成功、そしてその先にある「卒業式」の感動へと繋げ、3年生としてさらなる飛躍を遂げてくれることを期待しています。



宿泊学習で培った「自律・調和・挑戦」

2 学年主任 安田 裕希



5月27日(水)から28日(木)の2日間、2年生は旭川・富良野方面へ宿泊学習に行ってきました。1日目は、旭山動物園と科学館サイパルで自主研修を行いました。旭山動物園では、動物たちの行動や生態を観察しながら、展示方法の工夫についても学ぶ姿が見られました。科学館サイパルでは、さまざまな体験型の展示を通して科学への興味・関心を深め、それぞれが課題意識をもって研修に取り組んでいました。どちらの施設でも、班ごとに協力して行動し、時間を意識しながら計画的に見学を進める姿が多く見られました。しおりを確認しながら次の行動を考えたり、仲間同士で声をかけ合ったりする様子からは、自ら考えて行動しようとする「自律」した姿が見られました。



夕方には、旭川市内の体育館で学年レクリエーションを実施しました。学年協議会が中心となって企画・運営を行い、どの生徒も積極的に参加し、歓声や笑顔があふれる時間となりました。学年として「調和」のとれた温かい雰囲気の中で行われ、学年全体のつながりを深める貴重な機会となりました。



2日目は田植え体験を行いました。初めて田んぼに入る生徒も多く、裸足で泥の中に足を入れた瞬間、「冷たい!」「動けない!」と驚きの声や悲鳴を上げる姿が見られました。最初は戸惑っていた生徒たちも、次第に慣れてくると、任された場所へ一本一本丁寧に苗を植え、真剣な表情で作業に取り組んでいました。宿泊学習後の振り返り作文からは、「普段何気なく食べているご飯が、とても大切なものだ分かった」「これからは食べ物をもっと大切にしたい」といった声が聞かれました。普段の教室では得ることのできない体験的な学びは、生徒たちにとってまさに「挑戦」でしたが、一人一人が責任をもって作業を行い、食や自然への感謝の気持ちを育むことができたように感じます。



今回の宿泊学習全体を通して、しおりを見ながら自ら考えて行動する姿、お互いに声をかけ合い、困っている仲間を自然に助ける姿が数多く見られました。時間を守ることや集団で行動することなど、宿泊を伴う行事だからこそ求められる場面でも、一人一人が責任をもって行動しようとする意識が感じられました。学年目標の柱である「自律・調和・挑戦」を手掛かりに、生徒全員が協力してこの宿泊学習を成功へ導くことができたことを、たいへん嬉しく思います。



夏休みが明け、2学期が始まると、啓明祭や合唱の会など大きな行事が続きます。今回の宿泊学習で培った経験や仲間との絆をこれからの学校生活にも生かし、一人一人がさらに成長してくれることを期待しています。そして、互いを認め合い支え合いながら、「魅力的で温かな笑顔あふれるチーム 80 期」として、これまで以上に輝く学年へと成長してくれることを願っています。